



KESENNUMA
SHIGOTO-SOSHUTSU
PROJECT

「内閣府復興支援型地域社会雇用創造事業「SEEDx 地域未来塾」採択プロジェクト」
一般社団法人気仙沼仕事創出プロジェクト

2013年12月 気仙沼仕事創出プロジェクトレポート

2013年12月14日、気仙沼／東陵高校にて

高校生がマーケティングを学ぶ「気仙沼フードマイスター講座」を開催

1. 気仙沼フードマイスター講座とは？

2013年12月14日（土曜日）、気仙沼の東陵高校の高校生13名を対象に「気仙沼フードマイスター講座」を開催しました。高校生が気仙沼の地場産業である水産加工業と水産加工品を知り、マーケティングを学び、これを実践に活かす内容です。運営は東京と気仙沼の20代メンバーで構成し、気仙沼の水産加工品の東京圏への販路開拓のサポートと、これをできる人づくりを事業とする「一般社団法人気仙沼仕事創出プロジェクト」と、経営者の国際的な親睦団体「ロータリークラブ」の青年部である「ローターアクトクラブ」が協働にて行いました。



2. 気仙沼の高校生にマーケティングを学ぶ機会を

東日本大震災以前から気仙沼はほかの三陸地域と同様に、人口減少と高齢化、そして産業衰退が起っていました。これは、気仙沼の高校卒業者や大学卒業者の仕事が気仙沼には多くないことが原因でもあります。東日本大震災により若年層の流出や雇用、就業のミスマッチはより深刻なものとなっています。「一般社団法人気仙沼仕事創出プロジェクト」では、地場産業である水産加工業の販路開拓や高付加価値化を通して、気仙沼の仕事創出を目指し、人づくり事業も行っています。この一環として、高校生にマーケティングを学ぶ機会の提供を行いました。

気仙沼における高校生を対象としたプログラムは多数行われています。一部の高校生はこのプログラムを「はしご」しており、多忙であるとお話もありました。その中で、ロータリークラブのつながりから東陵高校をご紹介いただき、開催を行うことができました。

受講した高校生の満足度をとても高いものとすることができました。また、開催にあたり、気仙沼の水産加工会社などの経営者、7名にもご参加いただきました。10代と20代がわいわいと交流しつつ、それぞれの成長の機会となったことをとても喜んでいただきました。「気仙沼ではなかなか高校生がマーケティングを学ぶ機会はなかったので、素晴らしい講座だ」という感想をいただきました。



3. マーケティングの知識を誰かのために実際に使ってみる

「一般社団法人気仙沼仕事創出プロジェクト」の20代メンバーが、お客様のニーズとどこにあるか、水産加工会社のこだわりとは何か、そして、ターゲットは誰になるかなどのマーケティング知識を提供しました。イラストを使ってわかりやすく伝え、また、「ガールフレンドを作る際に、相手の好みを想像してみる」というように身近なものに題材をとって考えてもらいました。

このマーケティング知識をもとに、「気仙沼の水産加工品を東京圏に販売する場合のターゲット設定」というワークショップも行いました。

さらに、高校生にて気仙沼の水産加工品のアレンジ・レシピの考案も行い、考案したアレンジ・レシピの調理と試食、そして、ターゲットやこだわりについてのプレゼンテーションも行いました。

さんまの寒干しやさんまバーグ、イカの一夜干しなどの気仙沼の水産加工品を使って「さんまん」（さんまバーグ入りの中華まんじゅう）や「生春巻き」（さんまバーグやタコ、生野菜を巻いたもの）などを作りました。東京圏のお客様や仕事をしていて忙しいお客様のニーズを想像して、お手軽で、しかも美味しいものとなりました。



4. 気仙沼フードマイスター講座の継続の必要性を実感

高校生からは、「気仙沼で生まれて育ったのに、地元の水産加工品などには目を向けることが今までありませんでした。今回実際にレシピを考えて作ることでとても勉強になりました

した。」「普段気仙沼の食材を使って料理をしたことがなかったので、今回気仙沼の食材に興味を持つことができ良かったです。」「美味しく楽しい、そして知識が身に付く。とても良かったです。」「もっとマーケティングについて学びたいと思いました。本当に楽しかったです。」「自分は消費者の立場でしか商品を見ていなかったけど、今日参加して売る立場として商品について考えることができ良い経験になりました。すごく楽しかったです。」という感想をいただきました。 高校生が仕事を始めたときの大切な糧となったことを、また、高校生がマーケティングを学ぶ機会が今後も気仙沼に必要であることを実感できました。「一般社団法人気仙沼仕事創出プロジェクト」としても、今後の事業継続のモチベーションとなりました。